

(単元) 故事成語『狐借虎威』

(本時のねらい)

今回の授業においては、これまでに学んだ漢文訓読の知識を用いてまとまった文章を読み、本文を繰り返し音読することで漢文のリズムに慣れ、漢文訓読の基本を習得させる。また、虎をだまそうとしている狐の心理、狐にだまされる虎の心理を考えさせ、「百獣」「虎」「狐」が何をたとえていて、江乙の意図は何だったかを推測させたい。私たちが使っている言葉の中に、はるか昔の中国で作られた寓話がもとになっているものがある。その言葉の背景にある故事を知り、古典を身近に感じさせたい。

(ICT 活用方法)

ICT 活用授業向けコンテンツを使用し、国語便覧やインターネットを使って時代背景や漢文の基本的な知識について理解し、登場人物の思惑を考え、ワークシートを完成させる。

- ・ ICT 活用授業向けコンテンツ集の「朗読」「掛図」「画像」「基本小テスト」を使用する。電子黒板を見ながら「朗読」の一文再生を聞かせ、音読させる。
- ・ ICT 活用授業向けコンテンツ集の「掛図」を使用し、電子黒板を見ながら漢文と口語訳を示す。
- ・ 1 人 1 台端末で「基本小テスト」「ワークシート」を授業支援クラウドアプリを使って記入する。
- ・ 動画を再生し、当時の地図や登場人物の思惑などを考えながら鑑賞させる。
- ・ 1 人 1 台端末のワークシートに生徒の意見を入力させ、指名して発表させる。モニターで活動状況を確認する。

(本時の展開)

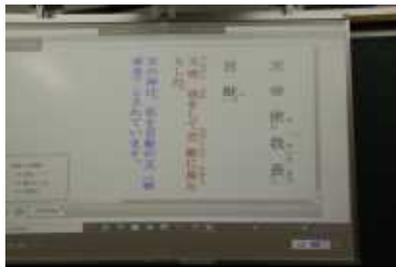
時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 3 分	・ 範読を参考に漢文を声に出して読む。	・ ICT 活用授業向けコンテンツ集の「朗読」を使用し、電子黒板を見ながら一文再生を聞かせ、音読させる。	・ 電子黒板に学習教材のタイトルを写す。 ・ ICT 活用授業向けコンテンツ集の故事成語『狐借虎威』を開く。
	・ 前時の書き下し文と、口語訳を確認する。	・ 授業支援クラウドアプリの使用方法を説明する。	・ 電子黒板と 1 人 1 台端末を使用する。 ・ 授業支援クラウドアプリを使用する。

<p>展開 35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の本文を見ながら文節ごとに口語訳を発表する。 ・動画を視聴する。登場人物を捉え、時代背景や心情を理解する。 ・ワークシートの空欄に意見を入力し発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用授業向けコンテンツ集の「掛図」を利用し、漢文と口語訳を示す。 ・動画を再生し、当時の地図や登場人物の思惑などを考えながら鑑賞させる。 ・1人1台端末のワークシートに意見を入力させ、指名して発表させる。モニターで活動状況を確認する。 ・発言しやすい雰囲気をつくる。 	
<p>まとめ 2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動について予告する。 	

(授業の様子)



当時の地図



コンテンツ集の「掛図」

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

2000年以上前に書かれた故事成語について興味関心を持って学習に取り組むことができた。動画の視聴はわかりやすいという意見が多かった。画面の切り替えがもっとスムーズにできればよかった。